

意外とやさしい コミュニティ・スクールのつくり方と育て方

「コミュニティ・スクールです」と宣言することから



コミュニティ・スクールの広がり

スーパー
コーディネー
ター

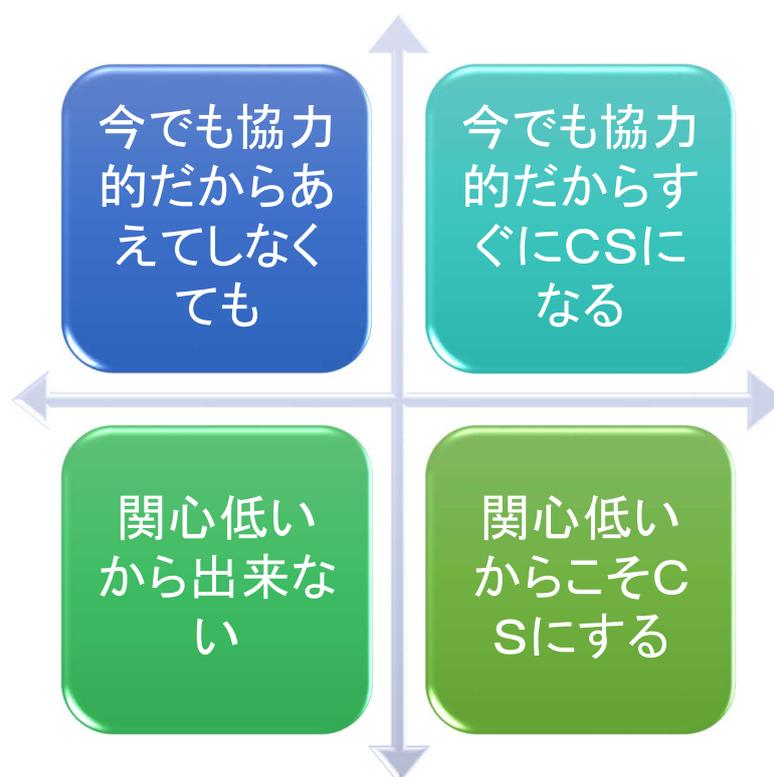
〇〇市型
コミュニティ
スクール

言わなくても
コミュニティ
スクール

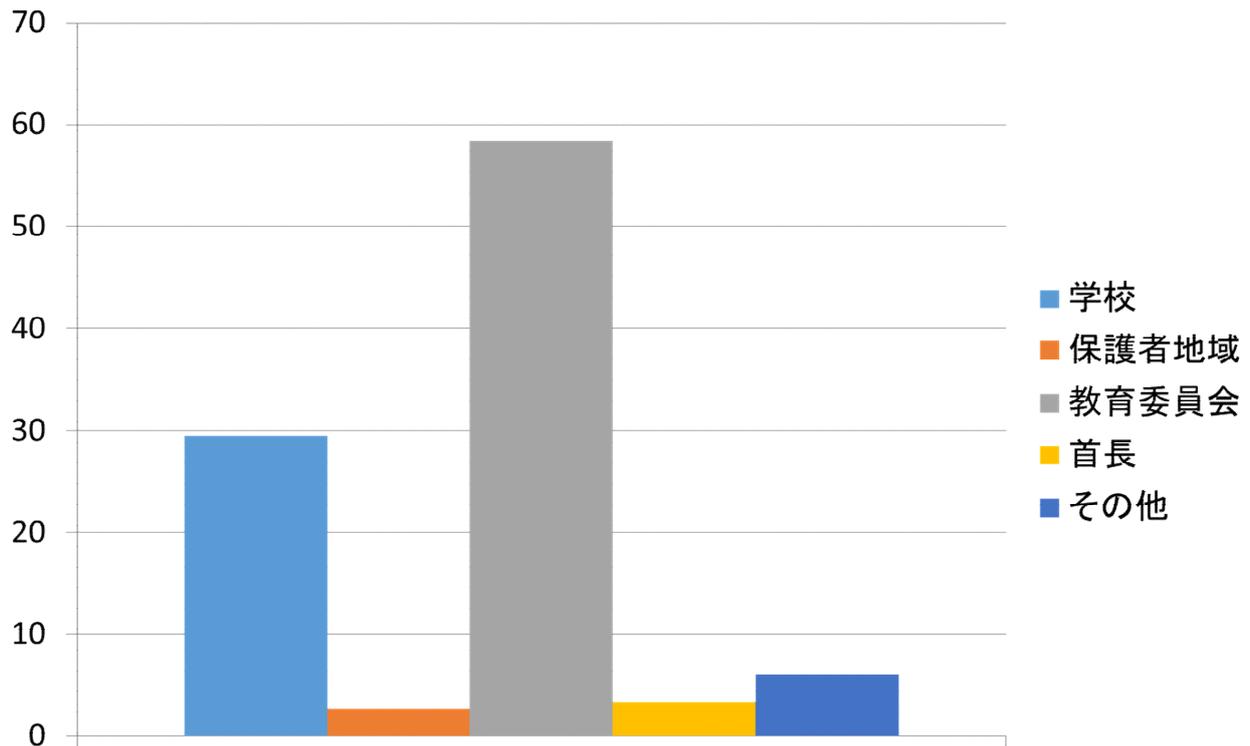
コミュニティ・スクールと言わなくても・・・



学校への協力体制(自治会加入率等)と コミュニティ・スクールの導入

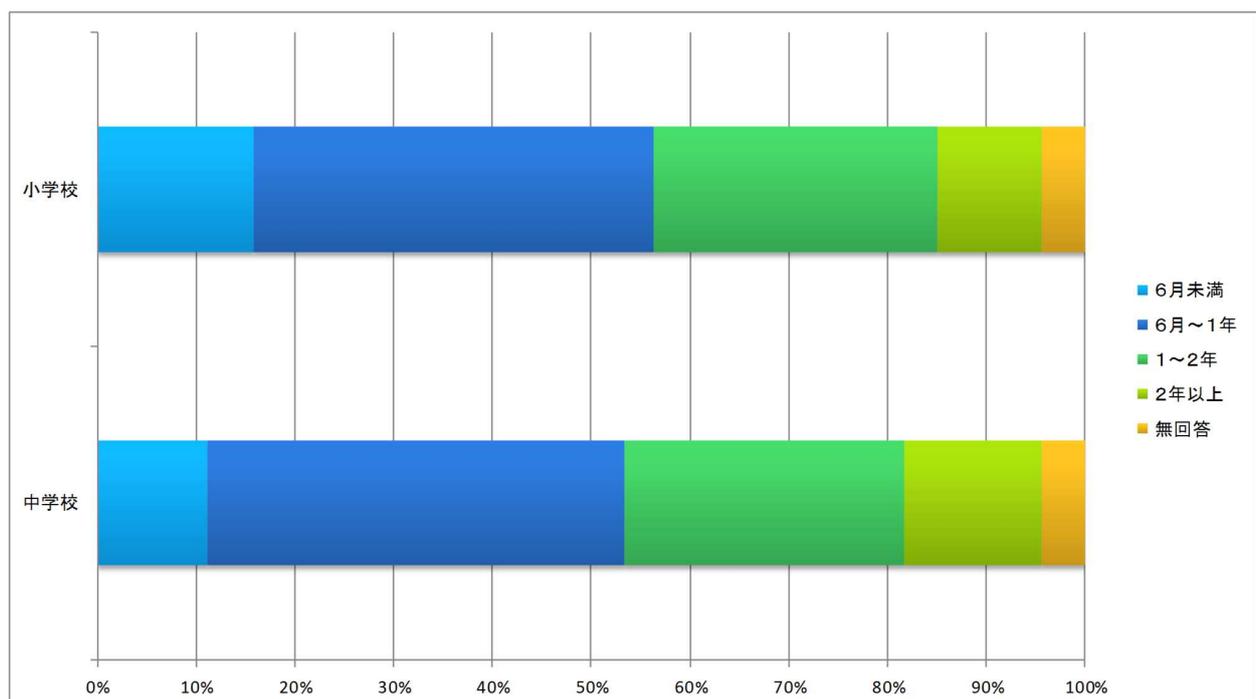


指定のきっかけの9割が学校、教育委員会



佐藤晴雄 日大教授 中教審資料

指定までに要した準備期間は1年以内が4割以上



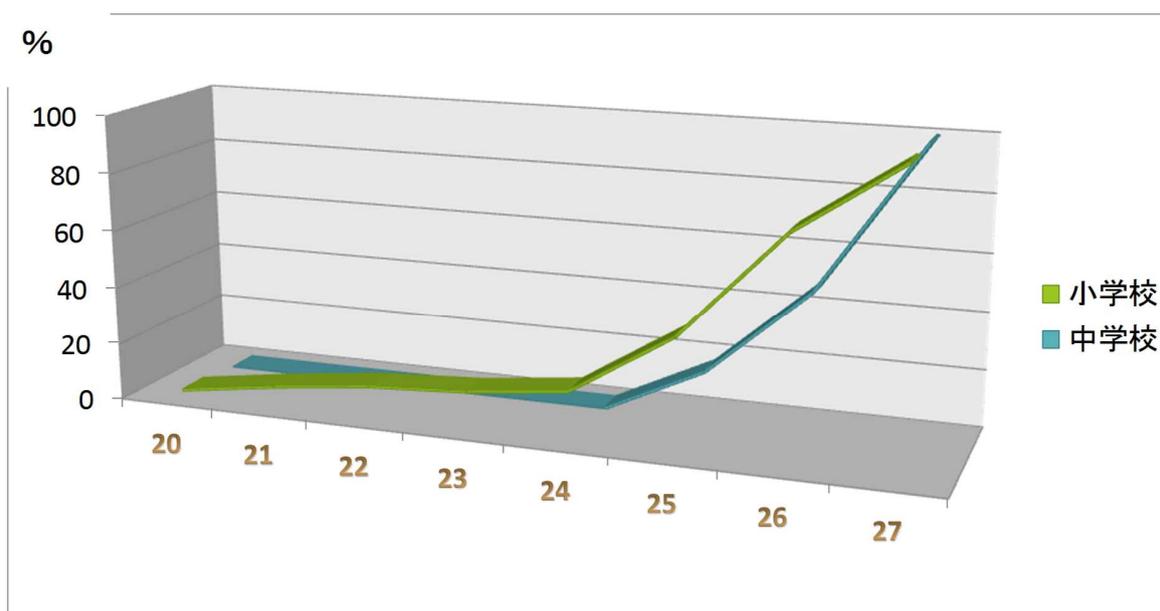
佐藤晴雄 日大教授 中教審資料

これだけで、コミュニティ・スクールになる

「評議員会」を「運営協議会」に

「説明」を「議案」に

3年間のうち、いつコミュニティ・スクールにしますか？



「コミュニティ・スクールです」と言い切ることから

- 成果ではなく、視点を提供
 - 活動でなく、意識(地域の教育者)をつくるため
 - はじめから劇的にうまくいくのではなく、徐々に変化
 - 学校への要望より、地域の教育力を活用すること
 - 従前の会議は統合し、中学校区ごとでも可
 - 大事なものは通信・発信
-
- 「あなたは学校のために何が出来ますか？」
 - 「わが校はコミュニティ・スクールです」と言い切ることが大事

新しい施策を導入する際のヒント

施策は難しくては広がらない

「意識改革が必要！」は解決策ではない

新しいことが増えたという意識にならない

今までの取り組みをアレンジする

ルールを作る側になる

漢方薬のように、徐々に変化

地域の教育者としての自覚

大人から挨拶

励ましと期待の評価

初級～上級

地域の教育力

生徒指導が落ち着く

困難な家庭にも届く

教員の負担軽減

いざというときに

危機管理に協力

防災力



リアル・地域コミュニティ
(体験)

バーチャルコミュニティ
(想像力)

大人に聞かなくても検索で
全ては画面上で展開
信用度の差が分からない
世代ごとの価値観の交わりがない

地域とはお節介な大人の
集合体

関わるべき人という認識

地域は教育の場

地域の教育者の自覚

コールマン報告・プラウデン報告

学校の
環境施設

教員の質

親の
経済力

親の接し
方=地域
の大人

親子の知的なやり取りに効果あり
→親以外の大人でも効果あり

地域の教育者としての言葉かけ

初級

- 大人から挨拶＋評価
- さすが、惜しい、期待しているよ、高感度高いよ

中級

- 先生の話をしっかり聞こうね
- 友達と仲良くしてね
- いじめている子がいたら注意してね

上級

- どう思う？どうしてこうなるのだろう？
- どうしたらいい？何ができる？（判断を求める）

「あなたのことを大切に思っているよ」というシグナル

地域の教育力の日常的な活用

長良っ子まなざしコミュニティ よいことみつけのメモ

こころにのこる よいことを みつけましょう！
げんきなあいさつ、えがおのあいさつ、やさしいことば、
おもいやりのあるおこない など



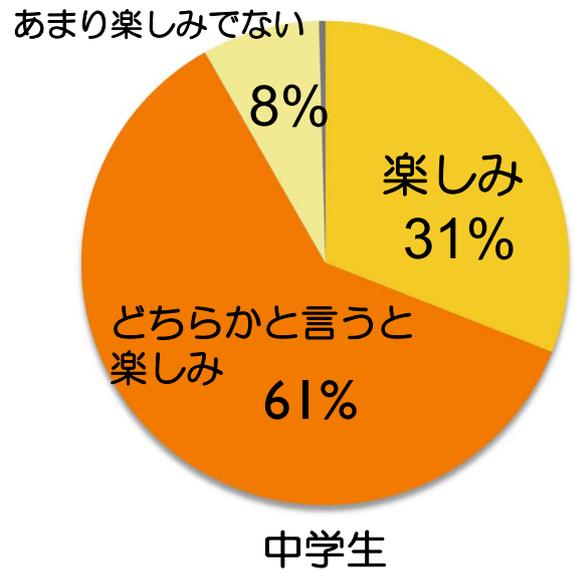
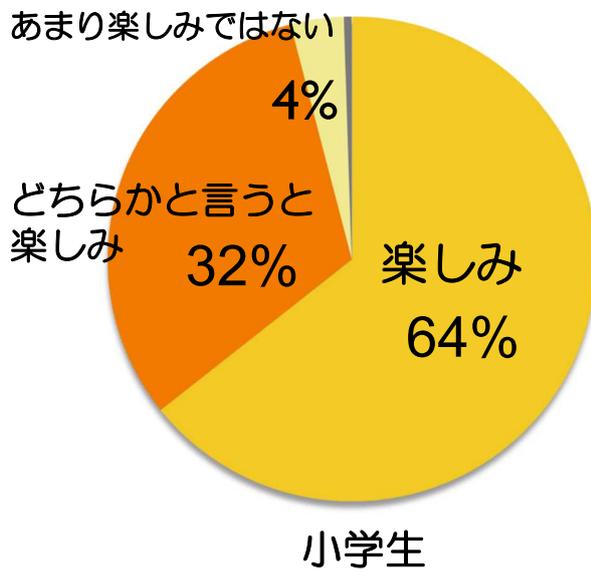
よいことをした子のなまえ

いつ

どこで
記入者（児童 町の人 保護者）
（よろしければお名前をお書きください）

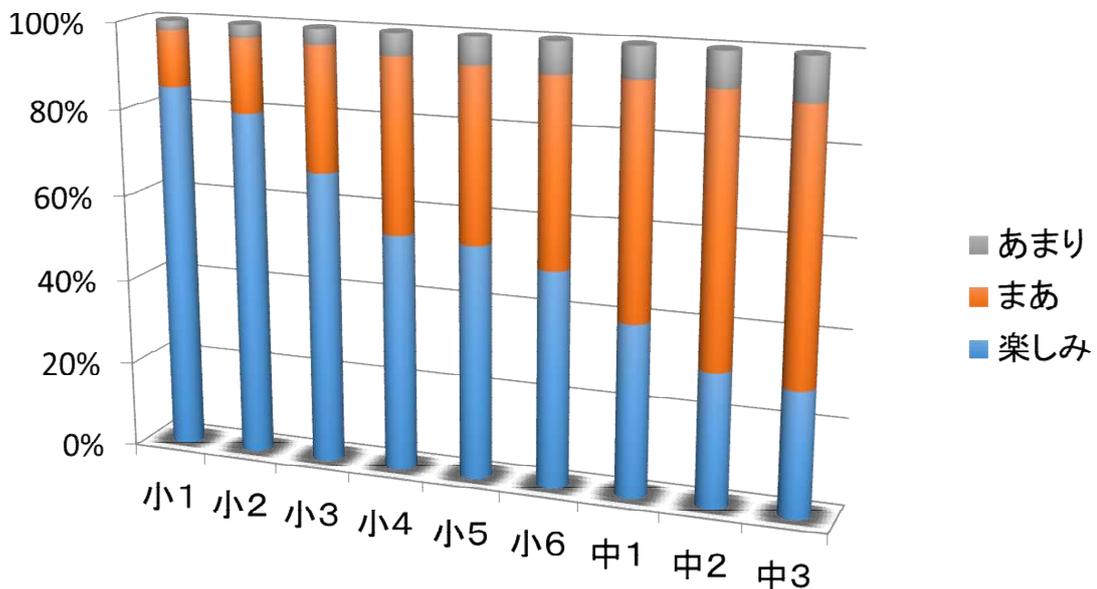
○よいことみつけのメモを みなさんにお知らせします。
○ていしゅつさきは、だんにんのせんせい、こうみんかんのしゅじさん、ながらっこまなざしコミュニティポスト（みどりろうか）などへおねがいします。
○なお、このメモでなくてもどんなようしでていしゅついただいてもけっこうです。

先生や親以外の大人の話聴くのが好きですか？



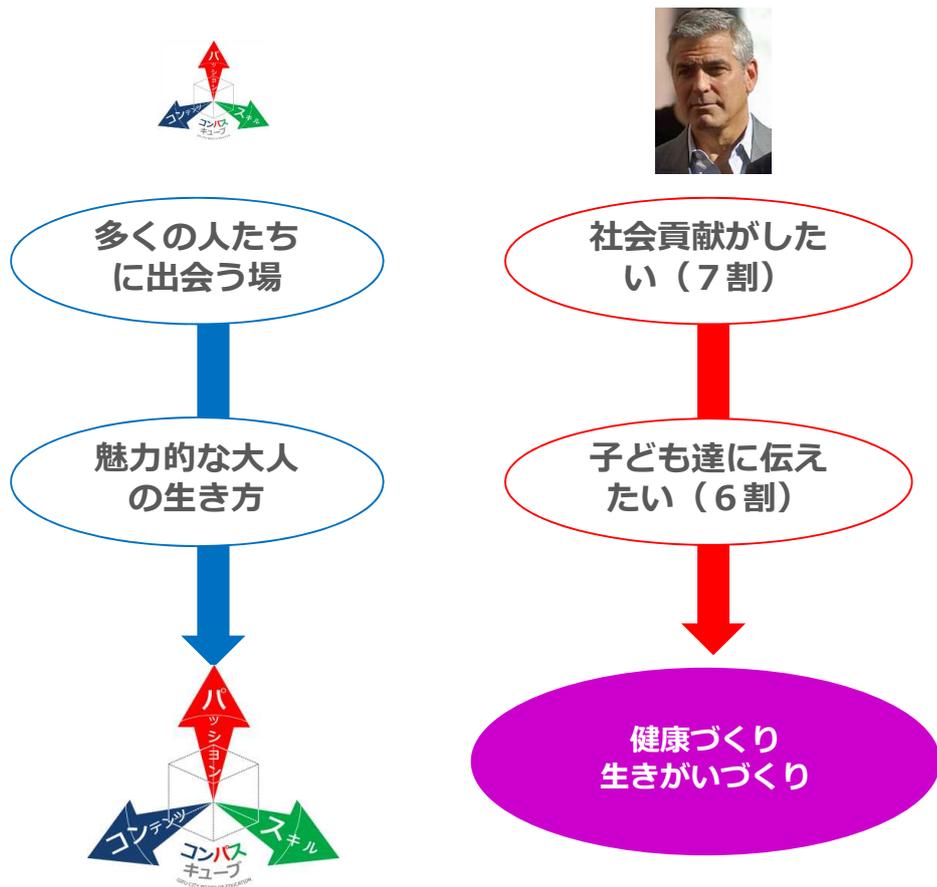
※2017年1月11日、10日に三里小、陽南中にてアンケート実施。

先生や親以外の大人の話聴くのが楽しみですか？



※2017年1月11日、10日に三里小、陽南中にてアンケート実施。

Gifuスーパー・シニア「大人の生き方」をみせる



ぎふスーパーシニアの学びを子ども達に

社会人としてのキャリア



生涯学習

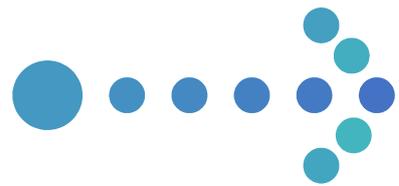


公民館講座



大人の
教育学
講座

子ども達の
学びへ



シニアの力を子どもの教育に

“ぎふスーパーシニア教育学講座”開催

参加者募集

※8/15

シニアの皆さんは誰もが豊かな知識や経験をお持ちです。その知見を学校や地域で子どもと触れ合う機会によりよく活かしていただくため、子どもへの接し方・伝え方を磨いていただくための講座を開催します。

- ▶ 対象：概ね60歳以上で全3回の講座全てに参加できる方(定員30名)
- ▶ 参加費：無料(※ただし、第1回のみ給食費として250円必要)
- ▶ 申込：8月15日(火)必着(※詳しくは、裏面参照)

第1回	第2回	第3回
9/21 (木) 11:00~13:30 徹明さくら小学校	10/5 (木) 10:00~12:00 旧徹明小学校	10/26 (木) 10:00~12:00 旧徹明小学校
開講式 シニアが講師の授業を参観 子どもたちと一緒に給食	学び 3,600人の調査から見えたシニアと子どもの相乗効果 講師：岐阜大学大学院教育学部 教育学 吉澤直之 准教授	学び 30年後の社会をつくる子どもたちのために 講師：東京大学大学院教育学部 教育学 牧野 隆 教授
	学び 今の子どもは？ 英語や英検、障がい・人権を踏まえた接し方・伝え方 講師：岐阜市子ども・若者総合支援センター 村田伊奈子 専任員 岡田 圭子 相談員	交流(ワークショップ) 参観者同士の交流など 修了式(修了証のお渡し)
		
主催：岐阜市教育委員会 問合せ：岐阜市教育委員会 教育政策課 (TEL: 058-265-3982)		

CSでできること

▶ 学校内でのシニアと子どもの「新たな接点」



一緒に食べる、話をする
※配膳や片付けは子どもたちが教える



一緒に遊ぶ
※遊びのルールは子どもたちが教える



子どもたちからお礼 ※うれしかったことなど



一緒に掃除 ※やり方は子どもたちが教える

- ・ 課題：個に応じた関与の仕方のスキル向上、守秘義務、安全配慮
- ・ 効果：子どものコミュニケーション力向上、教員の負担軽減

コミュニティ・スクールのための教員の配置の配慮

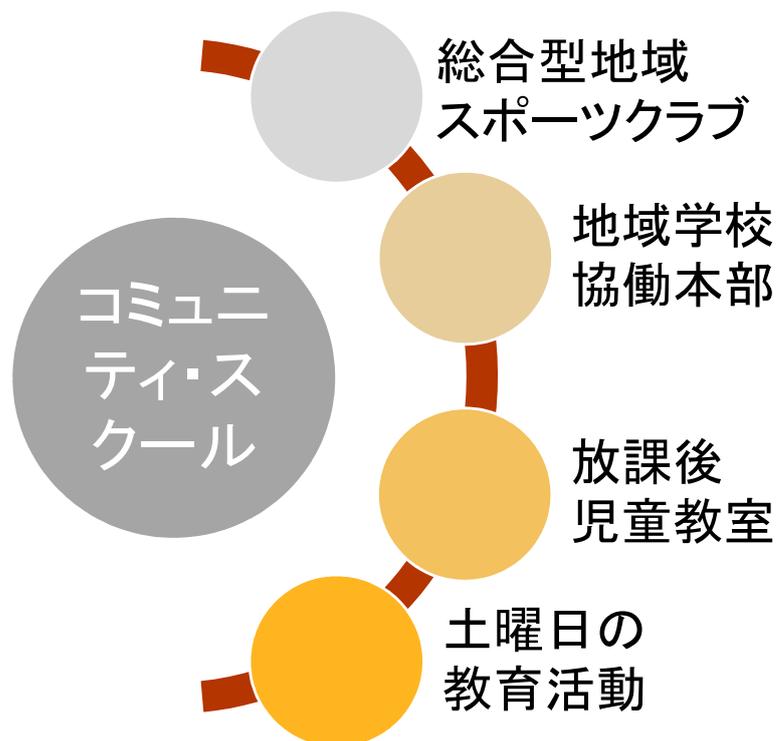
管理職の在勤年数の長期化

同一校への複数回勤務

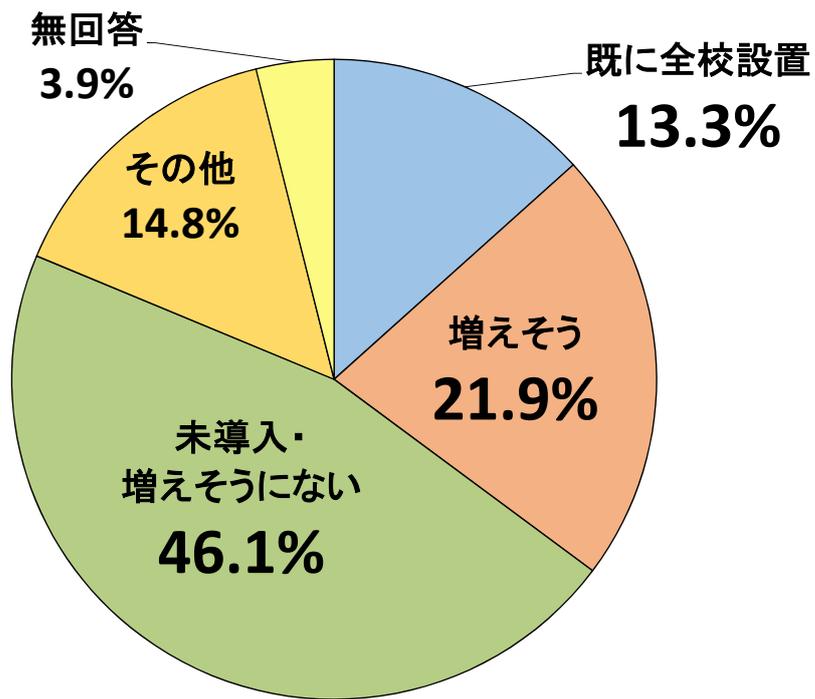
居住地の学校への勤務

再任用は原則退職時の学校で勤務

コミュニティ・スクールで集約



コミュニティ・スクールは 増えるか



「日本教育新聞」2017年5月1・8日1面